

復興支援フォーラムニュース No. 46

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫 (tkonno67@gmail.com) 中井勝己 (024-548-8313) >

<第43回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等>

8月8日に開催した第43回ふくしま復興支援フォーラム(菅野典雄氏「『おカネの世界』から『いのちの世界』へ」)は、約60名の参加で活発な議論がなされましたが、会場で提出されたご意見等は、以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★福島は、マイナスのスタートだと言われているのはその通りだと思います。福島の人、今後、どのような状況になった時に「ゼロ」になったと考えるのだろう。(K.K)

★地方行政の長として、突然の避難生活を経験され、その中で、村民全体の子ことを日夜考えている姿に心を打たれました。(K.F)

★「津波・地震はゼロからのスタートだが、放射能はマイナスからのスタート」、という言葉から、行政の苦労がうかがえました。しかし、住民第一の前向きな姿勢に感銘を受けました。(S.T)

★「村」という一番小さな行政単位の長として、ご苦勞をなされている事、また飯舘村再生への熱い思いをお聞きして、今後も苦勞の連続だとは思いますが、志を貫徹していただけるようエールを贈ります。(Y.M)

★「までいライフ」・「いのちの世界」など、地域社会のあり方について哲学をお聞きし、次世代に向けた重要な視点を示していただいた。一方で、現在の避難生活から復興へ、どんなシナリオを描けるのか、何が障碍になっているか(勿論、原発事故が障碍であることは前提)。(H.S)

★子どもや若い女性にとって「までいライフ」の魅力は何だったのでしょうか。そこに、未来設計の鍵があるように思います。村長、酪農の長谷川さん一家、佐藤健太さん、渡辺とみ子さん・・・いろいろな考え方や思いに接しながら、飯舘の少女たち、未婚の女性の声を聞く機会がもっとほしいと思っています。今日の講演については、理想や信念を柔軟な方法で伝える政治家は少ないなかでの理念あるお話に納得することが多かったです。ご自愛ください。(Y.N)

★バランス感覚について、もっと考えていかなければと思います。いろいろなものといかにバランスを取っていくのか。復興を考える上でのキーワードになります。(Y.I)

★飯舘村11区出身の男性が「村長を誇りに思っている」と発言されていたが、その通りだと思った。被災住民の要望を国に上げ、国の考えを被災住民に諭す役割を村長自らが行っている。他の政治家は何を行っているのか疑問が浮かぶが、術がないのでわからない。おカネは交換手段であって、手段を沢山集めることは問題があるとは思えない。都市民と村民の豊かで多様なバランスのある連携を望みたい(もちろん市民同士の交流も)。60名参加おめでとうございました。(T.S)

★村民に希望を持たせて、帰村に向けて、献身的に取り組む菅野村長さんに敬意を表したい。(R.N)

★精神的理念のもと、村政運営の柱を立てられ、ひとりひとりに向き合ったサービスはすばらしいと思います。(I.T)

★除染については、かなりきびしい対応となり、前提として国営の貯蔵施設で汚染物の長期間の保存が必要になると思いました。(M.T)

★菅野村長の貴重なお話を聴けて、とてもよかったです。いかに住民の方々と対話を重ねているのか、住民のくらしと向き合ってきたかが分かりました。(M.H)

★東京から出張で来て、偶然参加でき、本当に勉強になりました。こういった機会(勉強会)があり、市民が真剣に未来を考えていることを、東京の人間はもっと知るべきとだ思いました。復興に係る役人は、こういった場にこそ参加すべきです!(H.D)

★村長さんの話だけでなく、質疑応答で、避難されている方々の声を聞くことが出来、よかったです。(A.T)

★貴重なお話を伺えました。他の人に伝えたいと思います。来てよかったです。(S.O)

★今日は勉強させていただきました。ありがとうございました。(M.H)

★詳しくまとまったお話をうかがうことができ、色々考えさせられました。抑制のきいたお話、質疑にも感銘を受けました。ありがとうございました。(K.F)

★避難の決断や、村民との関係、自治体の存続など、苦しみの連続であったと思います。行政と村民の関係が、これまでのコミュニティの延長では考えられない状況になり、村長さんのリーダーシップと村民の方の徹底した話し合いがなされることを期待しています。(S.T)

★今、現在避難している村民のいる福島市を除染して欲しい。もしかしたら村にいるより線量が高い場合があるかも。震災前にどのような住民自治がなされていたかが、震災後の対応に影響してくる。避難してきた人が、この何カ月か不在になっているので心配しています。(Y.S)

★優しい語り口から、村民を思う、村長の思いが伝わりました。ありがとうございました。(F.T)

★とても心に残るお話をありがとうございました。(Y.N)

★菅野村長の10年以上前からの持論を再びうかがうことになったが、あれだけの巨大な事故は村長の持論に一体どういう影響を与え、持論はどう変わったのだろうか。それともますます確信を強めただけというのであろうか。激動期であればこそ、第三期として、高遠な文明論が求められるというのであろうか。(S.I)

★お話は、ひとつひとつはうなずけるものがありましたが、全体として、心に響くような、筋が感じられないのが残念でした。一般論、道徳論の比重が多く、今、村が置かれている状況にどのように切り込み、将来を展望していくかが言及されず、残念なことでした。(S.K)

=====

**【予告】** 第45回ふくしま復興支援フォーラム(2013年9月12日(木) 18時30分～)

テーマ 「福島原発災害と復興への課題」(仮題)

報告者 鈴木浩氏(福島大学名誉教授)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ」(Max ふくしま4F) 大活動室3

=====